

第2次生駒市教育大綱（事務局案）に対する教育委員からの意見

事務局案	飯島委員	寺田委員	神澤委員	浦林委員	坪井委員	レイノルズ委員	西井委員
基本方針1 子育てを楽しめる地域づくり							
1 保護者支援の場・コミュニティづくり							
<p>○未来の宝である“いこまっこ”が安心して成長できるよう、家庭・地域・学校・事業者・行政が連携し、地域全体で見守り育みます。</p> <p>○虐待のリスクを見逃さず、子どもたちの安全・安心を最優先に、地域をはじめとする関係機関が連携し、児童虐待の未然防止・早期発見に取り組めます。</p> <p>○子育て世代の保護者が孤立せず、子どもたちが安心して成長できるよう、児童委員と連携を進めるとともに、悩みを共有・共感・相談できる場や、子育てを地域で支えあうためのコミュニティを構築します。また、男性の育児を促す取組を進めるとともに、ひとり親家庭など、様々な家族の形に適応した支援を行います。</p>							
2 「遊び」を「学び」につなぐ就学前教育の充実							
<p>○今後のニーズ等を踏まえた幼稚園、保育園、こども園などの就学前教育の環境整備はもちろん、その教育内容についても、「遊び」を通して創造的な「学び」につなぐとともに、保幼小接続事業を進めます。また、地域の高齢者との世代間交流など、より多様な地域と力を合わせた「協働」による楽しく充実した取組を実践します。</p>							
基本方針2 21世紀を生き抜くしなやかでたくましい人づくり							
1 「地域に開かれ、地域とともにある学校づくり」の推進							
<p>○今後の学校教育のあり方を踏まえ、コミュニティ・スクールや学校施設の地域への開放など、地域活動の拠点となる、「地域とともにある学校」の実現に向けた取組を進めます。</p>	<p>「地域とともにある」という理念的な表現ではなく、コミュニティ・スクールを意識した表現に組み替えてはどうか。</p>			<p>○今後の学校教育のあり方を踏まえ、コミュニティ・スクールや地域人材を活かした部活動・協働への取組など、地域活動の拠点となる、「地域とともにある学校」の実現に向けた取組を進めます。</p>			
2 ICT機器を活用した新たな学びの創出と時代に応じた環境整備							
<p>○ICT機器の整備による習熟度別学習や講義形式にとらわれない自由で効果的な学びのスタイルを構築するとともに、安心・安全で、時代の要請に応じた教育環境の整備・充実に取り組めます。</p>	<p>先般のPISA調査結果では、日本の子どもたちは情報の真偽を判断し、自らの意見を述べる能力がかなり低いとされています。特別な指導方法を考えるのではなく、情報の真偽を判断するような教材と学習活動、また自らの意見を書いたり語ったり、相互に意見交換したりするような「機会」を授業中に設けることが必要だと考えます。</p>						

<p>3 多様性を認める柔軟性とやさしい心の育成</p> <p>○いじめを許さない学校づくりをはじめ、個々人の違いや多様性を理解し、他者と相互に認め合うための具体的な学びの機会を確保することで、自他ともに大切に作るやさしい心を育成します。</p> <p>○特別支援教育や学習支援を必要とする子どもたちへの合理的配慮など、きめ細かな教育を実践します。</p>							
<p>4 主体的に学び、挑戦を続けるたくましい心身の育成</p> <p>○「主体的に行動する力」「課題を見つけ、解決する力」「グローバル時代に対応する語学力」「他者と協働するためのコミュニケーション能力」を育成する学びや子ども一人ひとりの個に対応した学びを充実します。</p> <p>○「稼ぐ力」や「地域にとび出す機会の創出」など、実体験を増やすことで、興味ある分野への好奇心を促し、失敗しながらもチャレンジを続ける、逆境に負けないたくましい心身を育成します。</p>				<p>○年齢に応じた「自立」や「はたらく」意味を感じられる様々な実体験を増やすことで、興味ある分野への好奇心を促し、失敗しながらもチャレンジを続ける、逆境に負けないたくましい心身を育成します。</p>			
<p>5 「楽しい授業づくり」のための教職員の育成と環境整備</p> <p>○これらの学校教育の発展を確かなものとし、子どもたちが授業を「楽しい」と感じることができるよう、教職員の能力向上につなげる研修や、校務支援システムの導入などによる働き方改革を進め、子どもとしっかりと向き合える環境づくりを推進します。</p>				<p>5 「確かな学力」のための教職員の育成と環境整備</p> <p>○これらの学校教育の発展を確かなものとし、子どもたちが授業を「分かる」「楽しい」と感じることができるよう、教職員の能力向上につなげる研修や、校務支援システムの導入などによる働き方改革を進め、子どもとしっかりと向き合える環境づくりを推進します。</p>			

基本方針3 すべてのライフステージで、楽しみながら学び、地域とつながる機会づくり							
1 人と本、人と人をつなぎ、まちづくりの拠点となる可能性に満ちた図書館づくり							
○図書館を、人と本、人と人をつなぐとともに、市民との読書を通じたネットワークの構築など、まちづくり活動の拠点として、さらなる発展を目指した取組を進めます。							
2 歴史・伝統文化・芸術を通じた、より豊かなまちの実現							
○全国に誇る「茶室」「音楽」をはじめとする歴史、伝統文化、芸術を学び、体験する機会を拡充し、郷土いこまへの誇りと愛情を醸成します。							
3 「健康」「生きがい」「仲間」「まち」をつくるスポーツの発展							
○スポーツを通して、仲間の輪が広がり、誰もがいきいきと笑顔あふれるまちづくりを進めるため、高齢者の健康づくりや障がい者スポーツの推進など、誰もが身近な地域で気軽に行うことができる環境整備や、トップアスリートと触れ合うことができる機会づくりを進めます。							
4 すべての人が楽しく、安心して成長し、活躍できる機会の創出							
○乳幼児から高齢者まで、すべてのライフステージで個々のケースに応じて学び、楽しめる機会を増やし、市民の一体感を醸成します。また、仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりはもちろんのこと、市民の生涯学習をまちづくりにつなげる具体的な仕組みを構築します。							
○障がいの有無、国籍、性別、年齢などによる差別をなくし、人権を尊重し、多様性を認め合う学びや体験の場を創ります。また、社会での「生きづらさ」を抱える子ども、若者の再挑戦を応援するため、相談体制の充実を図るなど、すべての人が安心して学び、成長できる環境整備を進めます。							
○高齢者をはじめとする地域の力を活用し、幅広い世代への学びの場を提供するとともに、新たな人材の発掘・育成に努め、学校と地域との連携や地域課題への担い手となるまちづくりにつなげる具体的な取組を進めます。							